

(様式第 1 号)

令和 2 年 10 月 12 日

認定介護福祉士認証・認定機構  
理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : リハビリテーションに関する領域  
科 目 名 : 生活支援のための運動学  
単 位 数 : 2 (生活支援のためのリハビリテーションの知識と合わせて)  
認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

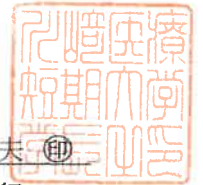
団体名 : 学校法人川崎学園 川崎医療短期大学  
団体事務所の所在地 : 〒 701-0194  
岡山県倉敷市松島 316 番地

電話 : 086-464-1032

FAX : 086-463-4339

E-mail : shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

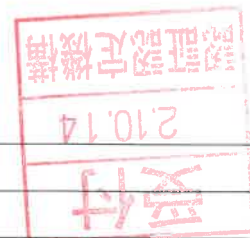


団体代表者 : 学 長 椿原 彰夫 ㊞  
申請責任者 : 事務長 田中 俊行

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>	
受付	2.10.14
確認	2.10.14
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	



(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 \_\_\_\_\_

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	令和2年10月12日
申請団体名	学校法人川崎学園 川崎医療短期大学
申請団体代表者氏名	学長 椿原 彰夫
申請責任者職名	事務長
申請責任者氏名	田中 俊行
団体住所	〒701-0194 岡山県倉敷市松島 316 番地
同 Tel・Fax	Tel : ( 086 )-( 464 )-( 1032 )
メールアドレス	Fax : ( 086 )-( 463 )-( 4339 ) E-mail <u>shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp</u>
申請対象の領域	領域名 : リハビリテーションに関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 生活支援のための運動学 ( 2 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ( )
	年 認証番号 ( )
	年 認証番号 ( )
その他特記事項	

## (別紙2) 認定介護福祉士研修認証

## 認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	リハビリテーションに関する領域	
科目名	生活支援のための運動学	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	認定介護福祉士として生活支援に必要な運動生理を理解し、支援することができる力を育成する。	
到達目標	<p>①筋・骨・関節など運動器系や脳・脊髄・末梢神経など神経系の解剖・生理機能を理解し、支援に活用できる。</p> <p>②関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用できる。</p> <p>③日常の諸動作の中で、身体各部の相互関係を理解し、支援に活用できる。</p>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>1. 身体表面のランドマークの名称</p> <p>2. 骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理</p> <p>3. 内部器官の運動時の生理</p> <p>4. 身体運動の基本的知識</p> <p>5. 運動の基本的な考え方（モーメントなど）</p> <p>6. 摂食嚥下における解剖・運動生理</p>	<p>・骨・関節の構造と機能</p> <p>・筋肉の構造と機能</p> <p>・神経系・循環器系の構造と機能</p> <p>・力学と身体運動について</p> <p>・摂食嚥下の解剖と生理</p> <p>各項目について講義を実施</p>
研修方法	<p>■通学課程（集合研修）</p> <p>□通信課程（通信研修）</p> <p>○集合研修講義で行う。</p> <p>○参考図書：基礎運動学 第6版 中村 隆一，齋藤 宏 他 医歯薬出版株式会社</p>	
研修時間	10 時間	
修了要件	○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭などやむを得ない事情による遅刻、早退については、合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。やむを得ない事情による	

	<p>30分以内の遅刻・欠席があった場合、該当科目の講師の資料またはテキストによるレポート課題を提出する。</p> <p>○筆記試験で100点満点中60点以上を得点し、合格すること。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</li> <li>・博士課程を修了している者</li> </ul>
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	川崎医療短期大学医療介護福祉科3年次生
修了評価（習得度、研修成果）	<p>&lt;試験による評価&gt;</p> <p>筆記試験（50問程度）100点満点</p> <p>100点～80点を優、79点～70点を良、69点～60点を可、59点以下を不可とする。不可（59点以下）の場合は、再試験を行う。</p> <p>優～可（100点満点中60点以上）で修了とする。</p> <p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>①筋・骨・関節等運動器系や脳・脊髄・末梢神経など神経系の解剖・生理機能を理解し、支援に活用できる。</p> <p>②関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用できる。</p> <p>③日常の諸動作の中で身体各部の相互関係を理解し、支援に活用できる。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	50名（講師3名）
開催場所（都道府県）	川崎医療短期大学（岡山県）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 令和5年4月～6年3月
	② 令和6年4月～7年3月
	③ 令和7年4月～8年3月
開催場所 (会場)	① 川崎医療短期大学
	② 川崎医療福祉大学
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<b>担当講師 (講義・評価) :</b> 藤田 大介 博士 (リハビリテーション学)
	<b>【職歴】</b>
	平成6年～ 大阪市更生療育センター 理学療法士 平成9年～ 大原記念病院 理学療法士 平成12年～ 島根リハビリテーション学院 専任教員 平成18年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 講師 平成26年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 准教授 平成31年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 教授 (現在に至る)
	<b>【講師経験・社会活動等】</b>
	<b>【講師経験】</b> 平成12年～ 島根リハビリテーション学院 専任教員 平成18年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 講師 平成24年11月 第28回日本義肢装具学術大会 褥瘡予防と福祉用具 平成26年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 准教授 平成29年10月 公益財団法人介護労働安定センター研修会 シーティングの基本 平成31年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 教授
	<b>【主な資格】</b> 理学療法士、専門理学療法士 (生活環境支援理学療法) 介護支援専門員、福祉用具プランナー、シーティング・コンサルタント
	<b>【社会活動】</b> 平成27年6月～ 岡山県理学療法士会理事
	<b>【所属学会】</b>

	<p>・日本支援工理学療法学会、日本シーティング・コンサルタント協会</p> <p><b>【著書等】</b></p> <p>・シーティング技術のすべて 医歯薬出版株式会社, 東京 pp. 32-36 2020</p> <p>・The influence of cane tip mobility on the activities of the upper limb muscles and the load amount on the cane during walking Kawasaki Journal of Medical Welfare 24(1) pp.27-32 2018</p> <p>・The Influence of Rollators with Forearm Support on Walking Speed, Endurance and Dynamic balance Journal of Physical Therapy Science 24(8) pp.667-670 2012</p> <p>主な研究業績 <a href="https://kwwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdoygoyggy">https://kwwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdoygoyggy</a></p>
担当、氏名及び略歴	<p><b>担当講師（講義・評価）：</b> 小原 謙一 博士（保健学）</p> <p><b>【職歴】</b></p> <p>平成 14 年：特定医療法人 仁生会 細木病院 平成 17 年：川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 助手・助教 平成 22 年：川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 講師 平成 28 年：川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 准教授 平成 30 年：川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科に名称変更（現在に至る）</p> <p><b>【講師経験・社会活動等】</b></p> <p><b>【講師経験】</b> 平成 17 年～川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科（現在に至る） 平成 26 年：第 30 回日本義肢装具学会学術大会 臀部ずれ力軽減を目的とした車いすシーティング 平成 29 年：第 7 回 訪問リハビリテーション実務者研修会 基本動作のメカニズムを理解し、動作の問題点を捉える 令和元年：公益財団法人介護労働安定センター研修会 「座らせきり」の弊害としての褥瘡の基礎知識と予防</p> <p><b>【担当科目】</b> 学部担当科目：理学療法評価学Ⅱ、理学療法研究Ⅱ、地域生活環境論</p>

	<p>大学院担当科目：理学療法学実習 A・B</p> <p><b>【主な資格】</b>          理学療法士、専門理学療法士（生活環境支援）、福祉住環境コーディネーター1級、シーティング・コンサルタント、日本義肢装具学会認定士</p> <p><b>【所属学会】</b>          日本支援工学理学療学会、日本義肢装具学会、日本褥瘡学会、日本シーティング・コンサルタント協会</p> <p><b>【著書等】</b>          ・臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技 診断と治療社，東京，pp.22-36 2016</p> <p><b>【論文】</b>          ・An investigation into the effectiveness of a novel wheelchair seat-cover assembly for the reduction of forces exerted onto the buttocks. Disabil Rehabil Assist Tech: in press, 2020          ・Development of a seat cover for a wheelchair on back support for decreasing shear force applied to the buttocks during reclining back support. Kawasaki J Med Welf 24: 61-69, 2019          ・背もたれ傾斜中における臀部ずれ力の変動と背もたれ上での体幹の上方滑りのタイミングとの関係. 義装会誌 35: 302-308, 2019</p> <p>主な業績  <a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdyoyeggy">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdyoyeggy</a></p>
担当、氏名及び略歴	<p><b>担当講師（講義・評価）：</b>          平田 淳也 博士（リハビリテーション学）</p> <p><b>【職歴】</b>          平成 19 年～ 笠岡第一病院（作業療法士）入職          平成 27 年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科（助教）入職          平成 30 年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科 講師（現在に至る）</p> <p><b>【講師経験・社会活動等】</b>  <b>【講師経験】</b>          平成 27 年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科（助教）入職          平成 30 年～現在 認定作業療法士取得研修講師          平成 30 年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科 講師</p> <p><b>【主な担当科目】</b></p>

	<p>運動学、評価学、臨床基礎実習</p> <p><b>【主な資格】</b>          作業療法士、認定作業療法士、福祉用具プランナー、カラーコーディネーター2級</p> <p><b>【所属学会】</b>          平成 21 年～ 日本作業療法士協会、岡山県作業療法士会          平成 27 年～ 日本義肢装具学会          平成 31 年～ 食と生活リハビリテーション研究会</p> <p><b>【社会活動等】</b>          平成 26 年～ 日本作業療法士学会演題査読委員          平成 27 年～ 岡山県作業療法士会事業部          平成 29 年～ 「作業療法おかやま」論文査読委員          岡山県作業療法学会演題査読委員</p> <p><b>【著書等】</b>          1. 平田 淳也, 小原 謙一, 鈴木 啓太, 井上 桂子. 座位作業時における体幹を前方から支持する補助具の影響. 作業療法 38(3):371-378, 2019.          2. 平田 淳也, 井上 桂子, 鈴木 哲. バランスチェアが VDT 作業時の頸部の筋活動に与える影響. 日本義肢装具学会誌 34(2):150-153, 2018</p> <p>主な業績  <a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kgyyksys">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kgyyksys</a></p>
(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	川崎医療短期大学 医療介護福祉科
研修の企画運営に関する諸規程	川崎医療短期大学学則、川崎医療短期大学履修規程
研修管理責任者職名	川崎医療短期大学 医療介護福祉科 主任
研修管理責任者氏名	山田 順子
機構問合先部署	川崎医療短期大学 医療介護福祉科 主任
機構問合先担当者氏名	山田 順子
機構問合先電話番号/FAX	Tel 086-464-1032 / Fax 086-463-4339
機構問合先 e-mailアドレス	yamada@jc.kawasaki-m.ac.jp
受講問合先部署	川崎医療短期大学 事務室
受講問合先担当者氏名	大戸 知子
受講問合先電話番号/FAX	Tel 086-464-1032 / Fax 086-463-4339
受講問合先 e-mailアドレス	shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	川崎医療短期大学事務室
受講履歴の管理方法	学校法人川崎学園大学事務局情報システム室が管理している学務管理システム及び電子出席簿システムを使用す



	る。システムデータは原則永年保存とする（最低 10 年）。 個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	卒業時または退学時に研修修了証を発行する。
管理責任者氏名	事務室 事務長 田中 俊行
管理担当者氏名	事務室 大戸 知子

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 リハビリテーションに関する領域

科目名 生活支援のための運動学

集合研修の総時間数 10 時間

第 1 回授業 (2 時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45~10:15	骨・関節の構造と機能	身体機能の各部位の名称、解剖生理について説明する。 骨・関節の解剖と動きの要点と触診部位を講義にて説明する。 身体表面の確認が比較的容易なランドマーク、骨指標について、上肢・肩甲帯、体幹・脊柱、骨盤・下肢の複数の箇所を説明する。基本肢位と運動面の種類を説明する。関節の種類と構造、運動方向と関節可動域について説明する。	参考図書 基礎運動学 第6版 中村隆一, 齋藤宏他 医歯薬出版株式会社 2003	藤田大介

第 2 回授業 (2 時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
8:45~10:15	筋肉の構造と機能	筋肉の解剖と作用の要点と触診方法を説明する。 筋肉の種類や形状と筋収縮のメカニズムを説明する。	参考図書 基礎運動学 第6版 中村	藤田大介

		身体表面から触診可能な上肢・肩甲帯、体幹・脊柱、骨盤・下肢の筋肉の触診方法を説明する。徒手筋力検査法などの筋力の評価に関する各種の方法について説明する。	隆一，齋藤宏他 医歯薬出版株式会社 2003	
--	--	--	------------------------	--

第3回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	神経系・呼吸・循環器系の構造と機能	神経系と呼吸・循環器系の解剖と運動時の機能の要点を説明する。 中枢神経・末梢神経、呼吸器系と循環器系のメカニズムを説明する。中枢神経・末梢神経と動作の関係性について説明する。運動時の肺や心臓の機能を説明する。	参考図書 基礎運動学 第6版 中村隆一，齋藤宏他 医歯薬出版株式会社 2003	藤田大介

第4回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	力学と身体運動について	力学的に身体運動と基本動作を分析する視点を説明する。 力、加速度、てこの種類、モーメント、重心位置、圧力、剪断力、支持基底面について説明する。臥位・座位・立位などの姿勢、寝返り・起き上がり・立ち上がりなどの基本動作と姿勢や動作を分析するための視点		小原謙一

		を説明する。		
--	--	--------	--	--

第5回授業（2時間）

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
8:45～10:15	摂食嚥下の解剖と生理	<p>摂食嚥下の解剖と生理について説明する。摂取と代謝について説明する。</p> <p>口腔と咽頭、喉頭の構造について説明する。摂食嚥下に作用する筋肉を説明する。嚥下（口腔期・咽頭期・食道期）のメカニズムや嚥下に適した姿勢について説明する。</p>	<p>修了評価：期末定期試験 期間中に実施する。</p>	平田淳也